

令和6年度政務活動実施成果報告書

会派名 茨城無所属の会

政務活動の主な内容及び成果について

(1) 県民からの県政に対する意見聴取

【目的】

県民の県政に対する意識調査を進め、政策の実現に資する。

【活動時期】

政務活動報告期間中を通じて随時実施。

【活動内容】

県民との個別の意見聴取並びに会合などでの意見交換。

【成果】

意見交換に併せ県政報告を行い、県政への関心を喚起。

(2) 県民からの県政に対する要望などの聞き取り

【目的】

県民の県政に対する要望を聞き取り、県政の課題解決につなげる。

【活動期間】

政務活動報告期間中を通じて随時実施

【活動内容】

聴取した意見や要望について、現地確認や調査なども適宜行い、県の所管部署や、土木、工事事務所など県の出先機関に出向き情報を共有。

【成果】

県政を通じての県民の福祉向上に向けた改善課題を職員と共有。県道などのインフラの改良、利便性向上などは事案によって改善が実施された。

(3) ムクナ豆栽培所視察

【目的】

県民の健康作りに関連した野菜栽培をテーマに、ムクナ豆に着目し、実際の栽培者の話や農学者の講演を聴き、多角的な知見を得る。

【活動期間】

令和6年9月7～8日

【活動内容】

実際の栽培所の見学。ホテルでの講演会、組合の会合に出席。

【成果】

むくな豆に豊富に含まれるL-ドーパについて学び、免疫向上や、パーキンソン病の症状緩和などの効能について学んだ。実際にムクナ豆の栽培・加工を石岡市内で始め、更なるノウハウを得て、新しい形の農業として、茨城県全体に共有していく。

（４）能登半島地震被災地視察

【目的】

被災者の現地状況確認。茨城県においての被災対策について考える。

【活動期間】

令和6年4月12～14日

【活動内容】

衆議院議員西田昌司事務所に訪問、現地の状況について話し合い、七尾市の被災地、避難場所の公民館を視察。

【成果】

茨城県においての、災害時の衛生管理体制に関する強化の必要性を感じた。特にトイレの衛生面について、仮設トイレを使いたくないがために、水をできるだけ飲まないようにしている若い女性もいるなど、トイレの利便性確保・悪臭対策について議論を深める必要があると感じた。このことは、予算委員会で発表する予定である。

また、家屋の倒壊・ライフラインの復旧状況についても見学し、ボランティアの方の生活環境について話し合った。

(5) 日本大学鈴木ゼミ講演・休日議会見学

【目的】

公務員志望の学生と行政機関で働くことについての意見聴取・交換、議会見学で留意すべき点などについて事前レクチャーを行い、学生の議会に対する理解を深めるとともに、議会運営や内容について、若年層の意見聴取・交換を行う。

【活動期間】

令和6年5月19日・6月7日

【活動内容】

日本大学三崎町キャンパスでのゼミナール授業において、事前に質問したい内容のアンケートをとり、その内容について、講演を行った。また、休日議会のあとに、会派の議員を含めて、議会についての質疑応答、意見交換を行った。

【成果】

今回の学生は、大半が法学部生で、大部分が公務員志望だったので、行政への興味も高く、県政の個別具体的な施策についての意見交換も行われた。昨年議会傍聴を行ったゼミ生のおよそ半数が、地方公共団体の職員として就職を決めた。